

5-1

〔都市空間，屋上緑化・壁面緑化に向けた軽量・薄層基盤植物の開発（高度化事業）〕

屋上・壁面緑化に向けた植物生産技術の開発

～壁面緑化用つる性植物生産技術の開発～

渋谷圭助・田旗裕也

（園芸部）

【要約】ヘデラ・ヘリックス規格苗の早期長尺化を図る場合，3月に18cmポットに鉢換えし，登攀させることで11月には2m程度の長尺苗となる。また，ヘデラ・ヘリックスの早期長尺化には，施肥条件よりも時期やポットサイズ，誘引方法が主幹長の生育に大きく影響する。

【目的】

緑化需要期後に生じたつる植物余剰苗を用いて，次期の需要期に付加価値を付与することを目的に早期長尺化を図る。今回は，緑化に用いられるつる性植物の中で最も市場占有率が高く，他のつる植物に比べて生育が比較的緩慢なヘデラ類について，早期長尺苗生産技術の確立を図る。

【方法】

3月23日，4月22日，5月21日にヘデラ・ヘリックス (*Hedera helix* 以下ヘリックス) の規格苗 (9cmポット草丈約30cm) から15cmポットおよび18cmに鉢替えし，供試した。仕立て方法は，地上部に設置し垂直方向に誘引する「登攀」と2mの高さに設置し，下方に誘引する「下垂」とし，主幹長を調査した。用土はピートモス+パーライト (容積比7:3) を用い，栽培はパイプハウス (60%遮光) 内で行った。施肥は対照区に成分量で窒素・2g・リン酸・2g・カリ・2g/1ℓを元肥として緩効性肥料 (ロング 100) を鉢換え時に施用した。化成区，2倍区には成分量で窒素・1g・リン酸・1g・カリ・1g/1Lを元肥として速効性肥料 (8-8-8) を鉢換え時に施用し，栽培期間内に化成区には1回 (3月23日開始: 6/17, 4月22日開始: 6/28, 5月21日開始: 7/7), 2倍区には2回元肥と同量を追肥した (3月23日開始: 5/26・8/1, 4月22日開始: 6/10・8/1, 5月21日開始: 6/25・8/1)。区制は1区5株とした。剪定作業は適宜，側枝を除去する程度行った。

【成果の概要】

- 1) ポットサイズおよび開始時期：同一施肥条件で比較した場合，18cmポットが15cmポットよりも主幹長が長く，開始時期が早いほど主幹長が長い結果となった。
- 2) 誘引方法：15cmポットを用いた場合，全ての開始時期において下垂に対して登攀が高く推移した。18cmポットにおいても，4月開始，5月開始で同様の傾向が見られた。
- 3) 施肥条件：15cmポットを用いた場合の3月開始および4月開始において，登攀，下垂ともに対照が最も高く，以下化成，2倍となった。しかし，15cmポットの5月開始および18cmポットのすべてにおいて，一定の傾向は見られなかった。
- 4) 18cmポット3月開始の下垂・化成，登攀・対照，登攀・化成においては11月に平均主幹長が180cm以上となった。
- 2) まとめ：ヘリックスの早期長尺化を図る場合，施肥条件よりも時期やポットサイズ，誘引方法が主幹長の生育に大きく影響した。

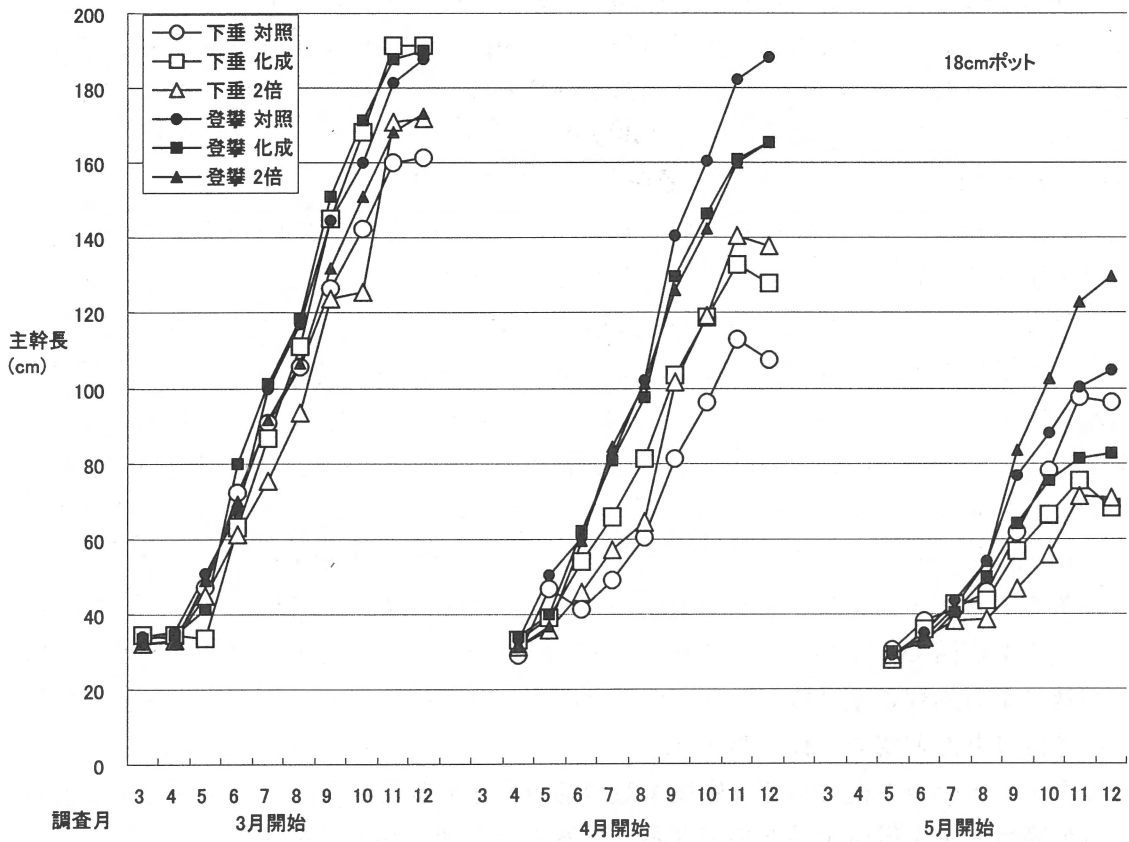
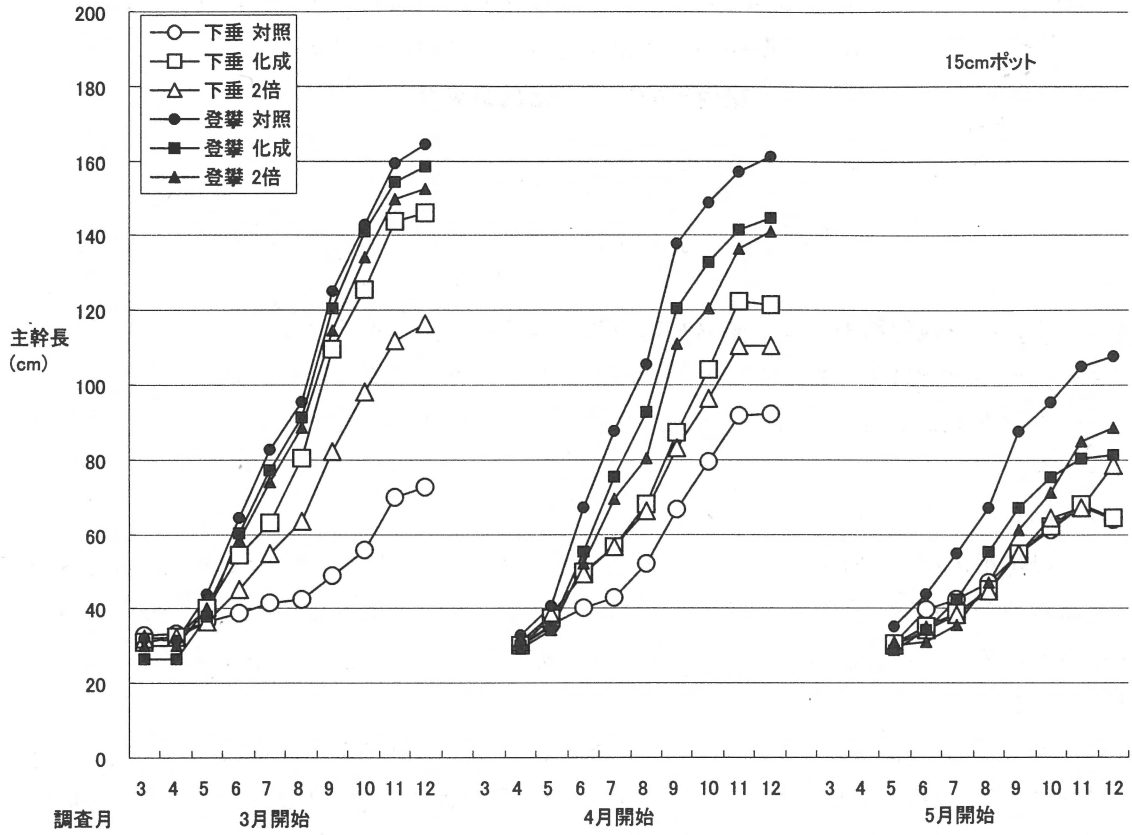


図1 ヘデラ・ヘリックスの生長曲線